

内 容

第1章

■暴力・デートDV・ジェンダー

デートDVとは、恋人同士の間でおこるDV(ドメスティック・バイオレンス)のこと。国内のある調査では、カップルの3組に1組が経験していると言われる。実際にデートDVの被害を受けた女性にインタビューし、非暴力・人権擁護団体のプログラムを学びながら、暴力、ジェンダーについて考える。



第2章

■自死をめぐる

日本では14年連続で自死件数が3万件を超えており、実際にはこの数倍の未遂者がある。更にその家族や近親者も合わせると、その数倍の当事者がいると推定され、現代日本の大きな社会問題となっている。自死遺族の話聞きながら、議論を深めていくなかで、自死をめぐる人権問題について考えていく。

第3章

■ホームレス問題

格差社会が進む現代日本には、ホームレス状態の人が数多く存在する。実際にホームレスとして暮らす当事者や、支援団体、ルポライターの北村年子さんなどの話を聞きながら、ホームレス問題に対する認識を深めていく。



第4章

■ハンセン病

ハンセン病は、かつては「らい病」と呼ばれ、古くから「業病」として人々に恐れられてきた。ハンセン病が感染症と知られると隔離政策が行われ、特効薬で完治すると判明しても長い間、隔離政策は続けられた。岡山県の長島愛生園、邑久光明園を訪れ、実際の患者や資料館の解説員の方と対話し、ハンセン病の歴史と現状を学ぶ。

2つの特典映像

このDVDには、本編の他に2つの特典映像が収録されています。事前の参考資料として、また本編視聴後の応用編としてご活用頂けます。

特典映像1

デートDV ロールプレイ (11分)

若いカップルの間で起きている精神的な暴力についてのロールプレイを「NPO法人青い空-子ども・人権・非暴力-」の講師が実演。



特典映像2

北村年子さんのお話 父が教えてくれたこと ~自死・ジェンダー・ホームレスをめぐる~ (16分)

第3章に登場する北村年子さんが、ご自身の壮絶な経験を語るロングインタビュー。



プロデューサー 中鉢裕幸/飯田基晴
ディレクター 飯田基晴/土屋トカチ
撮影 常田高志/飯田基晴/土屋トカチ

ナレーション 山口容子
音楽 米山 靖
録音 渡辺丈彦

制作協力 合同会社 映像グループ ローポジション
企画・制作 東映株式会社 教育映像部